

マイナンバー対応情報セキュリティ検討 WG

トレンドマイクロ株式会社
WGリーダー 萩原 健太

■ はじめに

本WGでは、マイナンバー制度の開始が目前に迫る中、企業がどのような準備を行えばよいのか、また現在行っている準備が適当なのか等、より現場の拠所となる成果物を目指し、検討・作成を行っているWGです。

■ 概要

内閣官房や特定個人情報保護委員会をはじめとした政府機関から様々な指針やガイドラインなどが示されていますが、まだ企業におけるマイナンバー対応は進み切っておりません。また、いざマイナンバー対応を行うために体制構築を始めようとするといくつかの壁にぶつかります。

まず一つ目は「どこからマイナンバーに関する情報を収集するのか」という壁です。現行のマイナンバーは税・社会保障・災害の三分野に限られておりますが、関連する情報は政府機関から複数文書等が公開されています。また情報量も増えてきているため、今度は読み切れない(本来の言葉の意味や意向も含めて)個人や組織も多いと考えられます。

二つ目は集めた情報を活かして、「どのように社内

体制を構築するのか」という壁です。マイナンバーの収集～廃棄までの各プロセスを理解し、また様々なリスクを想定し、社内体制を整備する必要があります。既存の文書等では伝わりきらない、より具体的構築作業をイメージできる情報の整理が必要です。

そして三つ目は「安全管理措置をどこまで実施するのか」という壁です。いかなる企業においても、基本方針・取扱規定を策定し、組織的・人的・物理的・技術的な安全管理措置の検討が必要です。費用をかけられるのであればいくらかでも高いレベルでのセキュリティ対策を施すことが出来ますが、費用には限りがあります。最低限の安全管理措置がどのくらいなのかを知ることが出来れば企業における安全管理措置の対応も推進されると考えます。そこで、セキュリティのベースラインを議論し、組織の体制構築や見直しに役立つチェックシートの検討をします。

このような壁を解決するために、当該WGではそれぞれの課題解決が図れるように「情報集約」「構築検討」「情報セキュリティ」の3つのチームを設けて検討を行っております。尚、検討結果の第一弾を2015年9月を目標とし、リリースに向けた検討を迅速に進めております。またマイナンバー制度や検討結果をより広く認知頂けるように、セミナーなどの開催も予定しております。



【WG 構成】

WGチーム名称	成果物(予定)	チームリーダー	サブリーダー
全体	全体	萩原 健太 (トレンドマイクロ)	松森 健一 (デジタルアーツ)
情報集約	情報収集ポータル	根津 研介 (NTT データ先端技術)	富田 高樹 (みずほ情報総研)
構築検討	構築検討キット	松森 健一 (デジタルアーツ)	持田 啓司 (大塚商会)
情報セキュリティ	リスク分析シート	工藤 雄大 (大日本印刷)	古川 勝也 (SecureWorks Japan)

【WG 参加企業一覧】 (50 音順にて記載)

上記、各チームに計28社の皆様にご参加、ご尽力を頂いております。

企 業 名	
株式会社アイピーキューブ	総合警備保障株式会社
株式会社アズジェント	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
アドソル日進株式会社	大日本印刷株式会社
インタセクト・コミュニケーションズ株式会社	デジタルアーツ株式会社 (※ 発起人)
エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社	SecureWorks Japan 株式会社
エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社	トレンドマイクロ株式会社
株式会社大塚商会	日本ユニシス株式会社
キヤノンITソリューションズ株式会社	日本電気株式会社
株式会社ケーケーシー情報システム	ネットワンシステムズ株式会社
株式会社コンシスト	株式会社日立ソリューションズ
株式会社サイバード	富士通株式会社
新日鉄住金ソリューションズ株式会社	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
JPCERT コーディネーションセンター	みずほ情報総研株式会社
セコムトラストシステムズ株式会社	株式会社ラック

【直近のスケジュール】

2015年5月：発足検討会(デジタルアーツ様による発起)
2015年6月：WG発足・検討の開始
2015年9月：リリース・セミナーの開催

※以降は鋭意改善を実施予定。